

4月号 東部購買店便り



JA静岡市あさはた支店 東部購買店 TEL: 245-7527 購買店: 245-7555

茶	苺・水稻・蔬菜	果樹・柑橘	女性部 (しづはた兼任)	購買
松尾	松尾・小柳	大塚	市川	橋本・萩原・鈴木・田山・中村

※大型連休前のご注文は、余裕をもっていただきますようお願いいたします。

**購買店
営業日**

月	火	水	木	金	土	日
4/28 通常営業	4/29 休	4/30 通常営業	5/1 通常営業	5/2 通常営業	5/3 休	5/4 休
5/5 休	5/6 休	5/7 通常営業	5/8 通常営業	5/9 通常営業	5/10 AM営業	5/11 休

※5/4(土)は土曜購買店のAM営業もお休みになります。ご注意ください。

水稻

- (1) 塩水選 (購入籾でも必ず行う)
- ・10aあたり4kgの籾を準備
 - ・塩水選した後に十分水洗いする。

	比重	10Lあたり	
		塩	硫安
うるち	1.10	1.6kg	2.0kg
もち	1.06	0.9kg	1.1kg

- (2) 種子消毒 下記薬剤に24時間浸漬する ※袋に籾を詰めすぎないようにしましょう

病害虫	薬剤	倍率	薬量
ばか苗病	テクリードC	200倍	100ml/水20L
もみ枯細菌病			
イネシンガレセンチュウ	スミチオン乳剤	1,000倍	20ml/水20L

※薬液から取り出したら、水洗いせず、種籾の倍量の精水に3~4日間静置浸種しておく。

- (3) 芽だし: 30℃前後に加温(温水に浸す)・・・1~2日間(水温や浸種状態によって変わる)
芽出しの程度は「ハト胸」・・・芽が切れて1mm程度出た状態
吸水が不十分だと発芽しにくい、芽だしが不完全だと播種後の発芽揃いが悪くなります。
- (4) 育苗箱はイチバン(1,000倍)で殺菌する。
- (5) 床土: 宇部倍培土又は粒状ぱーるまっと3号1箱あたり約3~4kg(床2~3kg、覆土1kg)
- (6) 根上がり防止のために十分灌水。籾は一箱あたり150~160gを均一に撒く。
健苗作りのため厚播きしない。
- (7) タチガレン液剤(500倍)を箱あたり500ml灌注すると丈夫な苗に!
防除しない場合も要灌水 種籾が少し浮くほどに灌水・籾が横になり重なりをなくす。
- (8) 根上がり防止のため、覆土は充分する。(種籾の上5~6mm程度)覆土した後は灌水しない。

水稻栽培 講習会開催

開催日時: 令和7年5月14日(水)13:30~
会場: あさはた支店2階
★本田病害虫防除について: 北興化学

参加をご希望の方は東部地域指導員までご連絡ください。
あさはた支店 東部購買店 TEL054-245-7527

東部購買店だより 令和7年4月21日発行

人事異動のお知らせ

転出者

後藤 雅則(購買担当)
⇒ 藁科購買店

繁田 優希(水稻・蔬菜指導)
⇒ 北部営農センター
藁科地域指導

久留 零生(柑橘・果樹指導)
⇒ あさはた支店 MA

転入者

小柳 奈摘(水稻・蔬菜指導)
⇐ 北部営農センター
藁科地域指導

大塚 悠矢(柑橘・果樹指導)
⇐ 南部総合経済センター
長田地域指導

大変お世話になりました!
ありがとうございました!

これから精一杯がんばります!
よろしくお願いします!

静岡市 補助事業

いきいき都市農家支援事業

補助対象者: 農業収入が50万円以上且つ市街化区域に農地(借地を含む)を所有している方。

※農業収入には家事消費事業消費金額のほか雑収入は算入しません。

補助額: 事業費の1/3(上限30万円)※

補助対象となる施設・機械: トラクター、動噴などの機械類、農産物を貯蔵するための冷蔵庫等

多様な担い手育成支援事業

補助対象者: 市街化区域を除いた農地で生産活動を行い、前年の農業収入50万円以上の販売農家

※農業収入には家事消費事業消費金額のほか雑収入は算入しません。

※認定農業者や認定新規就農者は除きます。

補助額: 事業費の1/3(上限30万円)

補助対象: 農業用機械、施設、設備(汎用性の高いものや消耗品は対象外)

・市が交付する農業経営に関する施設・機械の導入を支援する補助金の同一年度における併用不可

・申請は3年に1回とします。※年度(4月~翌年3月)で算定

申請書及び報告書の提出は申請者が直接市役所に持ち込むか郵送が申請の条件となっています。

茶 管内の茶の生育状況は、昨年より若干遅いと思われます。今後の降雨、気温の上昇で生育が進むことも考えられますので、計画を立てて摘採を実施しましょう。

今後の管理

◇ 1番茶摘採の注意事項

- ・摘採前に茶株面の落葉等の異物を除去する。
- ・樹勢維持の為、1葉程度残す摘採とする。(古葉は絶対に製品に入れない)
- ・摘採は早めを開始し、茶期後半に硬葉化しないように注意する。
- ・摘採した生葉にイタミが生じないように、取扱いに十分注意する。
- ・茶工場内外での異物混入の防止、衛生面にも十分気を配る。
(異物とは、製品の荒茶以外の物すべてが該当します。)

※ 履歴を確認し個人毎の茶摘採可能日を把握し作業を行って下さい。

※ 各自計画的な摘採に心掛けて実施して下さい。



柑橘

5月は花の防除になります。開花の程度は園地ごとバラつきがあるため、自身の園地や生育状況をこまめに観察し、防除適期を逃さないようにしてください。

また、1～4年生の苗木に関しましては、樹を早く成長させるため蕾を全て摘蕾しましょう。

【防除】

・温州みかん

花と芽の競合を避けるため、3分咲き防除時に尿素500倍とリンクエース1,000倍を混用散布。

時期	病害虫名	農薬名	使用倍率	日数-回数
3分咲き期	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日-3回
	チャノキイロアザミウマ カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回
落弁期	サビダニ チャノキイロアザミウマ	グレーシアフロアブル	4,000倍	7日-2回
	黒点病	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	14日-3回

・中晩柑

時期	病害虫名	農薬名	使用倍率	日数-回数
5月上旬 (満開時)	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	45日-2回
	チャノキイロアザミウマ カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回
5月中下旬	サビダニ チャノキイロアザミウマ	グレーシアフロアブル	4,000倍	7日-2回
	黒点病	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	14日-3回

落葉果樹

作物名	時期	病害虫名	農薬名	使用倍数	日数-回数
キウイ	5月中旬	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後から 果実肥大期まで
			クレフノン	200倍	
		クワシロカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2,000倍	7日-3回
梅	5月上旬	黒星病	ストロビーDF	3,000倍	7日-3回
梨	5月上旬	黒星病	ベンレート水和剤	3,000倍	前日-4回
		アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	3,000倍	前日-3回
	5月中旬	黒星病・輪紋病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-5回
		ハマキムシ類	ロディー水和剤(劇)	1,000倍	前日-2回
柿	5月上旬	黒星病・落葉病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-3回
	5月中旬	チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル(劇)	2,000倍	14日-2回
	5月下旬	うどんこ病・落葉病・灰色カビ病	ストロビーDF	3,000倍	14日-3回

- 梅のヤニ果が発生する園地ではヨーヒB5 1,000倍を防除時に混用散布するか、フィールドアップ(土壌改良剤)4袋/10aの施用をお勧めします。

※農薬名に(劇)が付いている農薬は購入時に印鑑が必要になります。

いちご

気象庁の3ヶ月予報では、向こう3ヶ月は平年と比べ温暖な気候となる見込みで、降水量は平年並みとなる見込みです。また、病害虫の発生には要注意です、予防の徹底や早期の発見と防除を心掛けるようにお願いします。

《本圃》 病害虫が増えていきます、総合的防除を行いましょ。

暖かい日が続き、アザミウマの発生が非常に多くなってきております。防虫ネットや粘着版、光反射資材などを活用し、総合的に防除しましょう。また、天敵防除が困難になってきている圃場は薬剤防除体系へ切り替えも考え防除しましょう。(ディアナSCやグレーシア乳剤など)特に、アザミウマは地中に蛹が潜伏する生態のため、残効が長い薬剤を連続散布(3~5日間隔程度)することが重要です。被害果及び被害花は早めに除去しましょう。

病害虫	薬剤名	RAC	倍率	日数	回数	入蜂
うどんこ病	パレード20(フ)	7	2,000~4,000倍	前日	3回	なし
灰色かび病	ファンタジスタ(顆水)	11	2,000倍	前日	3回	なし
アザミウマ	ファインセーブ(フ)(劇)	34	1,000~2,000倍	前日	3回	なし
	ベネピア(OD)	28	2,000倍	前日	3回	なし
アブラムシ	ウララ(DF)	29	2,000倍	前日	2回	なし
ハダニ	ダニオーテ(フ)	33	2,000倍	前日	2回	なし

※ダニオーテフロアブルは銅剤(ジーファイン等)との混用、近接散布は厳禁です。(14日以上あける)

《育苗》 育苗スケジュールを立て、今後の予定を明確にしなが作業しましょ。

- (1) 親株肥料管理(メルコクアント試験紙で500ppm以上を推移)
 - ① I B化成S1号の場合:親株1株あたり10日で3粒もしくは14日で4~5粒を施用。
 - ② 給液管理の場合:ECO.5~0.6を目安に給液。(5月の目安:400ml/株/日)
→水不足はランナー発生の減少につながります。培地が乾かない様に適時灌水して下さい
→過湿には注意して、プランター及び圃場内の排水対策を行いましょ。
- (2) 炭そ病防除
 - 培土は必ず新品もしくはしっかりと消毒したものを使用して下さい。
 - 採苗ポット、ランナーピン、ハサミなど使用する資材は全て消毒しましょ。
 - 発生が疑わしい株は迷わずすぐに除去し、圃場の外に持ち出しましょ。
→入口付近などに溜めて置かずに、早めに処分しましょ。(焼却がbest)
→除去した後に薬剤防除を必ず行いましょ。
 - 葉かきなど作業をした際は毎回薬剤防除をしましょ。(回数制限の無い薬剤の有効利用)

☆育苗圃防除ローテーション☆

時期	薬剤	RAC	倍率	主な対象病害虫	
5月	第1週 (30日~6日)	キノンドー(フ)	M1	500~800倍	炭そ病
		カスケード(乳)	15	4,000倍	ヨトウ・アザミウマ
	第2週 (7日~13日)	ジーファイン(水)	NC・M1	750~1,000倍	うどんこ病
		エコピタ(液)	—	100倍	うどんこ病・ハダニ・アブラムシ
	第3週 (14日~20日)	セイピアー(フ)	12	1,000~1,500倍	炭そ病
		モベント(フ)※散布	23	2,000倍	ハダニ・アブラムシ・アザミウマ
	第4週 (21日~27日)	ベルコート(水)	M7	1,000倍	炭そ病・うどんこ病
		エコピタ(液)	—	100倍	うどんこ病・ハダニ・アブラムシ
	第5週 (28日~3日)	ジマンダイセン(水)	M3	600倍	炭そ病
		プレオ(フ)	UN	1,000倍	ヨトウ